

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,368	電算点検、警備
合計	2,368	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「岐阜県図書館管理規則」（令和元年12月27日規則第九十一号）第2条4項で、図書館資料の点検に必要な期間は「おおむね十日」と定めている。
- ・「岐阜県図書館資料取扱要項」第9条で、「館長は、館内の蔵書点検を実施し、資料管理を行う」とし、同条2項で、点検箇所、頻度、実施期限を定めている。

(2) 国・他県の状況

大阪府立図書館、成田市立図書館（千葉県）などで、類似事業あり。

(3) 後年度の財政負担

必要最低限の日数で点検するためには、今後も継続して、蔵書点検作業の委託が必要となる。

(4) 事業主体及びその妥当性

図書館資料の適切な管理のため、他館での業務実績のある専門業者への委託が必要である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
蔵書点検のための休館中（約10日間）に、約45万冊の電算点検を終了する

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
						%
電算点検冊数	—	—	—	約45 万冊	約45万 冊	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
-------	--------------------

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	岐阜県における中核図書館として、休館日数をできるだけ少なくして点検する必要がある。休館による影響が大きい。
2	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 「岐阜県図書館図書資料取扱要項」の見直し（出納管理課協議）、点検内容の精査が必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 工事休館期間中の点検作業の可否について、検討する

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】